

政務活動記録簿

会派名	東翔の会
事業名	市議会会派合同行政視察
実施日	令和元年8月22日(木)～23日(金)
参加議員	柳澤旨賢、青木周次、横山好範、佐藤千枝、田中信寿

1 東御市における課題と研修・調査の目的

湯の丸高原スポーツ交流施設(特設プール)が今年度完成予定であり、(株)オーエンスが指定管理者に決定された。プール施設の適切な維持管理体制や利用者へのきめ細かなサービス提供などの運営状況等を確認するため類似施設である「千葉県国際総合水泳場」の行政視察を行い見識を深める。

自然災害が多発する中、市町村単独では対応不可能な広域的な甚大な被害に対し関係団体等が協力して応急復旧活動を行う基幹的広域防災拠点「東京臨海広域防災施設」の行政視察を行い見識を深める。

昨年度、首都圏の基幹市場として築地市場から豊洲市場に移転された。市内農産物(野菜・菓物等)の食の安全・安心の確保、効率的な物流の実現、環境に配慮された先進的な市場「豊洲市場」の行政視察を行い見識を深める。

2 経費

用途項目	経費の内容と内訳		金額(円)
(該当項目に○)	交通費代	貸切バス代、電車賃、有料道路代等 (@20,012×5名)	100,060
調査研究費	視察先謝礼	視察先土産代 (@184×5名)	920
研修費	日当	宿泊料、日当 (@13,000+@2,200×2日)×5名)	87,000
広報費			
広聴費			
要請・陳情活動費			
会議費			
合計			187,980

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと

3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No.1)

実施日時	令和元年8月22日(木)
視察場所及び 部局等	千葉県国際総合水泳場(千葉県習志野市)
視察事項	湯の丸屋内プールの指定管理者「(株)オーエンス」の水泳場運営について
報 告 内 容	(1) 視察先概要 千葉県国際総合水泳場は習志野市に在り、都内からも短時間で訪れる事が出来る。国際基準の50m長水路プール、飛び込み競技専用プールの他、一般市民も使いやすい短水路プールもあり、国際競技から市民利用まで幅広いニーズに対応できる。湯の丸高原屋内プールの指定管理者に決定している(株)オーエンスが施設管理を行っている。
	(2) 視察事項について 湯の丸高原屋内プールと同程度の長水路プールの運営管理を、どの様に行っているのかを(株)オーエンス担当者より説明いただき、その後施設内を見学した。安全管理や衛生管理など国際基準に沿った管理運営をされているとの事であった。
	(3) 所感・市政に活かせること 国際水泳場というトップクラスのプールを管理する(株)オーエンスの実績を感じる事が出来た。湯の丸高原屋内プールの指定管理を任せるに足る会社だと感じた。施設的には規模などは比較は出来ないが、屋内壁面の空きスペースに企業広告を掲示するなど湯の丸高原屋内プールでも活かせるアイデアがあった。

(視察先の写真等がある場合は添付)

3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No.2)

実施日時	令和元年8月22日(木)
視察場所及び 部局等	東京臨海広域防災施設
視察事項	基幹的広域防災拠点の東京臨海広域防災施設にて防災対策を研修
報 告 内 容	<p>(1) 視察先概要</p> <p>基幹的広域防災拠点・東京臨海広域防災施設は、東京都江東区有明の東京臨海広域防災公園内にあり、首都直下型地震の防災体験学習ツアーや様々な防災、減災知識を学ぶことが出来る他、災害発生時は「災害現地対策本部」等が置かれ、広域支援部隊等のベースキャンプ、災害医療の支援基地などに使われる防災拠点施設である。公園内には様々な防災関係施設が設置されている。</p>
	<p>(2) 視察事項について</p> <p>研修は主に、首都直下型地震を想定した「東京直下72hTOUR」に参加。マグニチュード7.3、最大震度7の首都直下地震の発生から避難、支援が届くまでの3日間、72時間をどう生き抜くのかを、屋内ジオラマや映像を使い被災現場を再現したコースを歩きながら体験するツアーで、タブレット端末を使ったクイズに答えながら生き抜く知恵を学ぶ防災体験学習であった。</p>
	<p>(3) 所感・市政に活かせること</p> <p>東御市では想定に至らない、直下型地震による都市型災害の学習体験訓練であったが、貴重な体験であった。災害に直面した時にどの様に行動し、課題に対応していくのかを常に考え、周囲と連携が取れるよう共有化を図っていくべきだと感じた。</p>

(視察先の写真等がある場合は添付)

3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No.3)

実施日時	令和元年8月23日(金)
視察場所及び 部局等	豊洲市場
視察事項	鮮魚、青果の新しい物流拠点である豊洲市場の視察
報告内容	<p>(1) 視察先概要 豊洲市場は、2018年に築地市場から移転した、水産物、青果物を取り扱う総合市場である。移転前の築地市場は、都内に11ある東京都中央卸売市場のうち最も古い歴史を持つ市場であったが、施設の老朽化と狭隘化が深刻となり、施設を抜本的に改善するため移転することになった。鮮魚・青果の集荷、取扱の最新の市場機能を持ち、流通の新拠点として期待されている。</p> <p>(2) 視察事項について 鮮魚、青果の市場機能、流通拠点として最新の施設を視察した。</p> <p>(3) 所感・市政に活かせること 東御市には市場は存在しないので、施設について参考とする事は少ないが、流通や市場に於ける最新の衛生管理などの一端を知る事が出来た。全国から集まる食材の中で、どう産地としての特色を出し、競争力を付けていくのか改めて考えさせられた。また、産地から消費者への直売も、強い農業の重要な要素であると感じた。</p>

政務活動記録簿

会派名	東翔の会
事業名	会派視察(広島県・福山市／三次市／広島市)
実施日	令和2年1月16日～18日
参加議員	柳澤旨賢、青木周次、横山好範、佐藤千枝、田中信寿

1 東御市における課題と研修・調査の目的

<福山市>切れ目ない子育て支援の課題に対し、ワンストップで子育てを包括支援する「福山ネウボラ」の取り組みについて視察、研修
 <三次市>住民が主役の地域づくりの課題に対し、地域住民運営の、「郷の駅(コンビニ+産直)」を中心とした「川西郷づくり協議会」の取り組みについて視察、研修
 <広島市>核兵器廃絶の課題に対し、新装された広島平和記念資料館及び平和記念公園を視察

2 経費

使途項目	経費の内容と内訳		金額(円)	
(該当項目に)	電車賃	しなの鉄道、JR新幹線代(尾道宿泊代含む)	220,280	①
	飛行機代			
調査研究費	タクシー	広島市内(ホテル、平和公園往復)	4,340	②
研修費	レンタカー	2日間借上げ代、保険料、燃料代	15,370	③
広報費	ガソリン代	レンタカー精算に含む		
広聴費	宿泊料	2日目広島宿泊代 (1日目尾道宿泊代は新幹線代とセット)	57,500	④
	日当	2200×5人×3日	33,000	⑤
要請・陳情活動費	資料代	川西自治連合会(視察手数料含む)	7,500	⑥
会議費	謝礼	1000×2か所(手土産)	2,000	⑦
	国内旅行保険	一人500円×5名	2,500	⑧
	高速料金		2,850	⑨
	入場料	広島平和記念資料館 @100×5	1,000	⑩
合計			346,340	✓

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと

実施日時	令和2年1月16日(木)
視察場所及び部局等	広島県福山市「子育て世代包括支援センター(ネウボラ相談窓口)あのね」
視察事項	切れ目ない子育て支援のための、子育て包括支援拠点の視察
報 告 内 容	<p>(1) 視察先概要</p> <p>広島県福山市は、瀬戸内沿岸部の中央に位置する人口約47万人の中核市で、備後都市圏の中心的役割を担っている。子育てに関する切れ目ない支援をする、「福山ネウボラ」の取り組みの中心拠点として開設された「ふくやま子育て応援センター」は、妊娠、出産、子育てに関する相談や子ども達の「遊びの場」の提供、子育ての情報提供、母子健康手帳の交付など、妊娠期から学童期の子どもを持つ家庭をワンストップで包括支援をしている。</p>
	<p>(2) 視察事項について</p> <p>市の中心地、福山駅前に開設された「ふくやま子育て応援センター」を視察。福山市保健福祉局児童部ネウボラ推進課の藤井課長より施設の概要、福山市の子育て包括支援「福山ネウボラ」の取り組みについて説明を受ける。その後、施設内を視察。十分な広さ、楽しい雰囲気の遊びの場である「プレイルーム」や母子健康手帳交付等の窓口、また育児相談室や就学前児童のための「ことばの相談室(言葉やコミュニケーションに関する相談)」を視察した。</p>
	<p>(3) 所感・市政に活かせること</p> <p>子育て支援を包括的にワンストップで提供することで、利用者の利便性も上がり、様々な角度からの支援が複合的に受けられることは、大変に有意義であると感じた。これを行うには子育てや教育、福祉の専門部署を横断的に結び付ける必要がある。東御市でも、包括的な子育て支援は求められており、参考となった。</p>



▲子供の遊び場「プレイルーム」



▲相談や母子健康手帳の交付

(視察先の写真等がある場合は添付)

実施日時	令和2年1月17日(金)
視察場所及び部局等	広島県三次市 川西地区郷づくり協議会・川西郷の駅
視察事項	川西自治連合会・川西郷づくり協議会による住民主導の地域づくり
報告内容	<p>(1) 視察先概要</p> <p>広島県三次市は県中央部の山間地に位置し、平成16年の8市町村合併によって約5万2千人の市となった。鉄道、道路が交わる交通の要衝であるが、高齢化率は35%で少子高齢化も進んでいる。市内には19のまちづくり組織があり、「協働・市民参加のまちづくり」を推進するとして、総額1億7千万円余の自治活動支援補助金、専門常駐の支援員の配置、地域力向上支援事業として、毎年130万円の補助金を、19住民組織に交付するなどのサポートをしている。川西郷づくり協議会はその中でも、地域住民の8割の参加により、コンビニ+産直施設の「川西郷の駅」を立ち上げ、運営するなど活発な活動をしている。</p>
	<p>(2) 視察事項について</p> <p>川西郷づくり協議会の事務局が置かれる自治会館にて、福永自治連合会長及び、三次市地域振興部地域振興課・永井主任に説明を受け、その後「川西郷の駅」を視察。説明では住民主導の地域づくりを推進するため、地域住民から自ら取り組みたいという人材を募り、住民ニーズの把握のためアンケートを何度も行い、綿密な地域ビジョンを作った経緯をお聞きした。ビジョンを実現するため、市のサポートも受けつつ、自らが国、県の補助金を活用するなど積極的な活動を行っている。</p>
	<p>(3) 所感・市政に活かせること</p> <p>市からのサポートの厚さにも驚いたが、福永会長のリーダーシップのもと、川西郷づくり協議会の皆さん、地域の皆さんが積極的に地域づくりに関わっていかうとする姿勢が素晴らしかった。行政主導や一部の役員が進める地域づくりではなく、住民ニーズを的確に把握し実現に向けて進めていく仕組み(複数のアンケートや住民発意による組織への参加)が出来ており、またそれを支える事務局体制の強化もしっかりとされていた。</p>





▲自治会館での研修風景



▲住民主導で出来た「川西郷の駅」

(視察先の写真等がある場合は添付)

実施日時	令和2年1月18日(土)
視察場所及び部局等	広島県広島市 平和記念公園・平和記念資料館
視察事項	広島平和記念公園・平和記念資料館の視察
報告内容	<p>(1) 視察先概要 長崎市と共に世界で唯一の被爆地、広島市の平和記念資料館及び平和記念公園は爆心地にあり、核兵器の悲惨さと核兵器廃絶を訪れる全世界の人々に訴えかけている。</p> <p>(2) 視察事項について 広島平和記念資料館は2019年春に改修工事が完了し、より核兵器の悲惨さと核兵器廃絶への取り組みの大切さが理解しやすい展示となった。新しい展示では原爆犠牲になった方の人生に思いが至る展示となっており、より心に訴えかけてくるものがある。被ばく物品や、被害の写真などの展示が以前より見やすくなり、映像による再現も心に残った。</p> <p>(3) 所感・市政に活かせること 今更ながら核兵器の非人道的な被害、と核兵器廃絶への思いにを至った。視察者の内数名は初めての来訪であったが、現在の中学生の修学旅行は関西方面なので、平和学習として広島はどうかと感じる。</p>
	
	<p>▲広島平和記念資料館の映像による展示</p>
	

(視察先の写真等がある場合は添付)

政務活動記録簿

会派名	東翔の会
事業名	東御市議会定例会等会議録購入
実施日	
参加議員	柳澤旨賢、青木周次、横山好範、佐藤千枝、田中信寿

1 東御市における課題と研修・調査の目的

議場内における議案の採決に至るまでの経過や議論された内容等について、会派内議員の正確な情報共有を図るため、東御市議会定例会等の会議録を購入する。

2 経費

使途項目	経費の内容と内訳		金額(円)
(該当項目に○)	市議会会議録購入代	3月定例会 会議録	16,625
	〃	6月定例会 会議録	9,670
調査研究費	〃	9月定例会 会議録	11,805
研修費	〃	12月定例会 会議録	10,905
広報費			
広聴費			
要請・陳情活動費			
会議費			
資料作成費			
資料購入費			
人件費			
事務所費			
合計			49,005

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと